

東京片貝会報

発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
〒146-0084 大田区南久が原2-32-10
電話 090-4831-5580

東京片貝会 平成30年新年会御案内

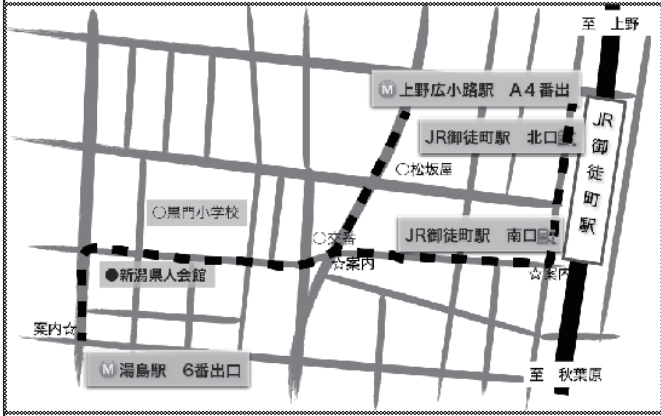
師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
晩秋の長雨が過ぎ、追いかけるように早い初雪を降らせました。沿道に舞う落ち葉の乾いた音が関東の冬を伝え、木枯らしが身体に堪える気候です。皆様はいかがお過ごしでしょうか。
会場を前回と同じく御徒町にある新潟県人会館に設け、下記の要領にて平成30年新年会を開催致します。
同級生の方やお友達を誘い合い、多数のご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時
平成30年1月28日(日)
午後1時(正午より受付)

会場
新潟県人会館 2階
東京都台東区上野1の13の6
☎03-3832-7619

会費
男性…5,500円
女性…4,500円

返信は、1月12日(金)迄にお願い致します。



- 会場までのご案内
- ①東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口 徒歩1分
 - ②東京メトロ銀座線「上野広小路駅」A4番出口 徒歩5分
 - ③JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口 徒歩6分
- *ホームから南口改札へ降りるエレベーターがあります。

会の動き

理事会
於 新潟県人会館 5/21
本田会長以下16名
・案内状・会報発送
・総会打合せ
中学校同窓祭・総会 6/11
於 総合センター
・本田会長出席
東京片貝会総会 6/25
於 東京グリーンパレス
・会員68名
・来賓・ゲスト39名
片貝祭 9/9・10
・厄年同級会
・出発式挨拶&祝い酒
・浅原神社例大祭
本田会長列席
・相撲枚数懇親会
会員多数参加
片貝中学校創立70周年 記念式典10/21
於 片貝中学校体育館
・本田会長以下3名
記念講演として
・本会主催 教育講演会 11/19
於 新潟県人会館
・本田会長以下15名
・活動報告
・総会総括
・新年会打合せ

会員短信

忍足良子(昭22年卒) 同級生女子の出席がなく残念です。

会合邂逅

若杉会 出合いの集い
私たちは毎年旅行を行っていますが、今年は新潟地区在住幹事のお世話でお世話をし、6月6・7日、咲花温泉で出合いの集いが行われました。46名の参加者があり一夜語り明かし、翌日は有志で阿賀野川遊覧を楽しみました。さざなみ会 徳永隆広氏演奏会 10/28@原宿 ホール60
今回選んだモーツァルトの曲目は、痛切な響きの中にも、時には天上から光が差し込むかのような穏やかさを併せ持つ珠玉の作品です。初秋に彼岸へと旅立った父をこの曲で見送る思いで演奏しました。



中村恵美子(昭23年卒) 元気にしていきます。
松本アイ(昭24年卒) 盛会をお祈り致します。継続は力なりですね。故郷を思いつつ。本田善一(昭26年卒) 片貝出身の皆さんとお会いできて大変嬉しく思います。
石川春子(昭26年卒) 先日退院したばかりですが、杖を使っています。楽しみです。
吉原靖子(昭27年卒) 元気にして居ります。所用で残念。藤塚浩治(昭27年卒) 今回は都合が合いませんが、来年の会を楽しみにしております。
品田紀美子(昭28年卒) 体調が少し悪いので欠席します。
吉井均(昭29年卒) 太極拳(公認二段)、卓球、水泳にと元気でやっています。
鯉島昭雄(昭29年卒) 腰が痛くて歩くのが困難です。お酒を薬として毎日飲んでます。
加藤素子(昭32年卒) なかなか参加できず、懐かしい方々のお顔もあるのでしょうか。
藤塚昭子(昭32年卒) 若杉会の風景が毎月楽しみでした。本田利美(昭38年卒) 紺仁さんの通産大臣賞受賞本当におめでとうございます。
松井正之(昭46年卒) HPで町の様子が分かって感謝です。阿部清(昭41年卒) 今月初回の出席で楽しみにしています。

会員訃報

阿部武様(昭38卒、十九伸会)



年代を超えて繋がる！ 第58回総会開催

平成29年6月25日
東京グリーンパレス

第58回定期総会が開幕され、あいにくの雨模様にもかかわらず来賓38名、会員68名、総勢106名の方々にご参加いただき盛会となりました。また会長の挨拶のなかで、初めて参加された方が9名あり、大変嬉しい事とお伝えしました。

今年も各方面からご協力ください、JAおぢや様からお土産としておぢやのコシヒカリを、片貝煙火協会様からポスターを寄贈していただきました。地元出身で総務省の嘱託職員である地域おこし協力隊の佐藤勇介氏の活動風景を掲示致しました。小千谷出身の若い人材が同世代の面々と連携したり、片貝町の振興に関わってもらったり今後が期待されます。

次に母校を励ます会内藤会長より会員各位へ謝辞と小学校、中学校図書費の贈呈が行われました。先生方から児童・生徒の皆様が活躍されている模様をお伝え頂くと共に、今年10月21日に片貝中学校は創立70周年の記念式典を行い、その一環として教育講演会を開催する旨をお知らせいただきました。

小宮様からは、本田協議会長からのメッセージが届けられ、4月に初めて全町内をあげて防災訓練を実施し、学校からは授業の一環として児童が加わったりと、千名を超える参加があったとの事。震災から13年を経たが周囲でも何かと騒がしい。今、防災を意識する取り組みについてお伝えいただきました。そして、乾杯の音頭を朗志会

「ご来賓としてお越し頂きました小千谷市教育長 松井周之輔様、片貝町協議会副会長小宮正



安達弘之様よりおとり頂き、会の更なる発展を祈念して乾杯の御発声となりました。メとなる恒例の木遣り大合唱は百名を超える片貝人の朗々たる響きに満ち、まるで片貝祭りの舞台にいるかのような空気の中、万歳三唱を慰十六会黒崎正雄様に行って頂きお開きとなりました。



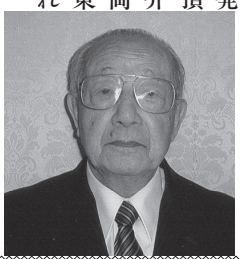
【ご来賓出席者】(敬称略) 松井周之輔(小千谷市教育長・小千谷市議会議員)、大矢弘光(片貝町協議会副会長)、高橋英夫(東京新潟県人会副会長)、小方邦雄(片貝中学校校長)、相田覚(片貝小学校教頭)、楠田浩(片貝小学校教頭、吉原裕二(片貝中学校同窓会会長)、小野塚祐一(片貝中学校同窓会事務局長)、黒崎哲郎(片貝町商工振興会会長、吉田敏明(片貝町公民館館長、小林光紀(浄照寺住職)、根本 忠(片貝医院院長)、山口 恒(浅原神社第一区社務長)、石上 勉(西成会会長・還暦)他3名、相崎敏(成友会会長・50歳)他3名、佐藤圭三(飛翔会会長・42歳)

他2名、佐藤勇介(地域おこし協力隊)、名塚孝一(片貝町伝統芸能保存会会長)他11名 【会員出席者】(敬称略) (昭和17〜30卒) 中川克子、阿部修次、佐藤安治、神林勝夫、浅田義男、大塚順一、小宮秀雄、溝手俊一、石川春子、荒木ムツ、佐藤祐一、松岡規子、安達弘之 (昭和31〜39卒) 小宮善興、芝 満雄、小野塚清、大矢佐知子、藤塚 悟、黒瀬良子、大塚國夫、安達 弘、黒崎正雄、木村 隆、吉原敏明、本田秀幸、松井京子、鈴木映子、安達信悟、大矢とらじ、小野塚和夫、芝 強、佐藤正志、浅井忠明

他40卒) 相崎俊夫、岸井久美子、太刀川和雄、安達 仁、阿部 清、安達 徹、栗原知子、山口光夫、小林和弘、安達裕子、安達亮一、高坂清美、山口正彦、内藤富美子、藤塚 弘、秋山千鶴子、黒崎 治、吉井 譲、藤塚伸雄、三枝則子、渡辺由紀子、安達智子、徳永隆浩、徳永雅史、松井朱美、相崎達也、安達良喜、小野塚括吉、堀井ひとみ、佐藤潤、吉田貴裕、相崎清輝、友田啓、白石知子、吉原 勇

東京片貝会の「母校を励ます会」発足当時から今日まで継続して御支援頂いている太刀川三郎さん(90)のご紹介です。太刀川さんは昭和二十三年長岡高専の電気科卒業後(株)関東配電(現東京電力)に入社、神奈川支店に配属されてから東電一筋に活躍されました。

その後、照明学会の参与としてお勤めになり平成九年に退職されました。その間、日本放送協会を始め各局に多数出演され専門書籍の出版も6冊となり、それらの功績に通商産業大臣賞始め関係方面から数々の受賞をされました。



現在は鎌倉の自宅で趣味の園芸で洋ラン約三百鉢を育成されその道のプロも絶賛とのこと。ちなみに御実家は三之町の広野屋さんです。長兄の慶作さん(94)は日本プロスキー発起人のおりました。東京片貝会の「母校を励ます会」は会員の基金で運営しております。皆様からのご協力を!

東京片貝会の年会費は二千円です。郵便振込みは窓口よりできるだけATMを使用ください。手数料差50円も節約!!

「雪国で手塩にかけて作った“白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた“魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土壌で丹精込めて作った逸品です
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された“白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は ⇒ **JA越後おぢや** 検索

JA 越後おぢや

〒94-0021
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3525

諸我石材店

臺碑・灯籠
石材加工販売

諸我和成
〒947-0101
小千谷市片貝町一の町
☎0258-84-2317

税務相談

お気軽にどうぞ

もろが会計事務所

諸我時夫(昭32年卒)
柏市増尾8-22-9
自宅☎04-7176-4528
事務所03-3888-4190

第35回 母校を励ます会教育講演会

「知的財産制度を支える仕事とは」
相崎 裕恒氏 昭和55年卒 成友会
平成29年10月21日 片貝中学校にて

今年の記念講演会は片貝中学校の創立70周年記念講演会として開催されました。式典後の緊張感が漂う中、特許庁審判部にお勤めの相崎さんにご講演いただきました。

「知的財産」って何？と誰しも思ったことでしょうか。ところが、児童や生徒の方達に親しみのある例を用いた丁寧に分かり易くお話しくださいました。そして皆さんから次のような感想をいただきました。

◆「知的財産」ただ漠然としていたがとつても身近で大切なことである◆知的財産を保証してくれる商標権、特許権、意匠権等があること◆企業等が生み出した技術、アイデアが「一番」を独占するための審判をしている一つの特許庁があること◆知的財産で社会や経済を支えているが紛争が起きうるのだということ◆これから商品を手にしたとき、なるほどこれだ！と気を留めてみる目が養われた◆東京霞ヶ関ツアール、行ってみたいです◆片貝から日本のために働いてくださる方が沢山おられることを誇りに思いま

す」など多数。

まために、今を大切に楽しんでいい思い出が思い返せるように。いつまでも変わらぬ仲間達がいることを忘れずに。こんな心に残る素敵なメッセージが送られました。



講演を終えて

相崎裕恒さん(抜粋)

この度、故郷の後輩達に講演する貴重な機会をいただきました。主題は私の仕事である特許について、定番題材であるアイスクリームとドラえもんを使って説明し、その際、利益追求を目的とする企業も自らの正義に沿った活動をしていることを説明しました。また、話しの最後で、厄年の花火の際の同級会を「タイムマシン」に例えました。他人に評価されようとして疲れ、ふと立ち寄ったコンビニ

で、「自分を信じる気持ち」にあらためて気づいてほしい。そのきっかけを、心のどこかに、必要なくなるまで置いておいてほしい。また、花火のために故郷の同級生と会うとき、時間を超えて、器用さや身につける前の自分たちにも出合い、同じ時間を過ごしてきたことに改めて気づく、そのことを思い出してほしいと、講演会では願いを込めながらお話ししました。

この貴重な機会を与えてくださった皆様、そして懸命に聞いてくれた後輩達と片貝町地域の皆様、本当にありがとうございます。

【母校を励ます会基金】ご協力者名

(敬称略・順不同)

(H 29・4・1〜10・31)

- 太刀川三郎(15)、中川克子(17)、阿部修次、佐藤安治、神林勝夫(21)、大塚順一、友田善智(22)、長岡利夫(23)溝手俊一(26)、大平アイ、石橋行夫、荒木ムツ、佐藤祐一、藤塚文顕、松岡規子、吉原靖子(27)、安達隆、黒崎勝(28)、横田房枝、吉井均(29)、安達弘之、吉田正子(30)、芝満雄、小野塚清、大塚國夫、藤塚 悟、軍司雅子、小宮善興、大矢佐知子(31)、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、井上知子(34)、小林栄三(35)、

- 高野鈴子、松井京子、本田秀幸、吉原敏明、寺町明美(37)、芝 強、小野塚和夫、浅井忠明(38)、谷内 弘、佐藤正志(39)、太刀川和雄、岸井久美子、相崎俊夫(40)、安達 徹、安達 仁、栗原知子(41)、勝又一司、安達裕子、安達亮一、高坂清美(42)、藤塚 弘、内藤富美子(43)、吉井 謙(45)、松井正之(46)、藤塚伸雄(48)、三枝則子、渡辺由紀子(49)、安達智子、徳永隆浩(52)、徳永雅史(53)、安達良喜、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、白石知子(60)

【東京片貝会への寄付】

左記の方々よりご寄付を、JA越後おちや様よりお米を頂き、厚く御礼申し上げます。

(敬称略、順不同)

- (H 29・4・1〜10・31)
- 日下部政子(02)、太刀川三郎(15)、中川克子(17)、阿部修次(21)、友田善智、大塚順一(22)、長岡利夫(23)、小宮秀雄(26)、石橋行夫(27)、安達隆(28)、小宮善興、大塚國夫、芝 満雄、藤塚 悟(31)、安達 弘(33)、井上知子(34)、高橋則夫、寺町明美、吉原敏明、松井京子、本田秀幸(37)、浅井忠明、小野塚和夫、芝 強(38)、谷内 弘(39)、太刀川和雄(40)、安達徹、小林和

若え衆登場

吉原 勇

飛翔会(第44回卒) 故郷の片貝町が好きです

最初のきっかけは、2年ほど前に会の若手メンバーの方に誘われて銀座にある居酒屋の呑み会に出たことです。東京にいて沢山の片貝の方と地元話が出来た事はあまり経験した事がなく楽しく不思議な体験でした。その際に会の活動を知って興味を持ちました。そして初めて参加した総会

は思っていたよりはるかに大規模な会でした。全員で肩を組んで歌う「木遣り大合唱」は本当に感動しました。まるで東京グリーンパレスの一角が片貝町になったかのようで、浅原神社の前で歌っている錯覚に陥りました。あの場の空気を、初めて体験出来ただけでも総会に参加した価値はあったと思います。

こんな素晴らしい会なので、これから行事に積極的に加わっていこうと思っています。出張が多い仕事ですが、都合をつけていろいろ参加させていただけます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

感動空間 新宿レフカダ
落語、漫才、コンサート
楽しい事がここにある！
芝 強(昭38年卒)
新宿区新宿5-12-4
☎03-5366-0775
http://lefkada.jp/

YSS
YAMAGUCHI MFG Co., Ltd.
“開発から量産までトータルソリューション”
精密金型製造・各種プレス加工
(株)山口製作所
小千谷市片貝町10245-1
TEL:0258-84-2308 FAX:0258-84-2080
URL http://www.yssmf.co.jp/

米萬商店
お米・そば粉
有限会社 米萬商店
米萬 検索
小千谷市片貝町5347
Tel 0258-84-2057

塗料・塗装機器
防水材・コーキング材
建築設計
黒崎交商有限会社
小千谷市片貝町船橋 2387-1
電話：0258-84-2247
FAX：0258-84-3743

※有料企業広告を募集中※

はるなつ・は・今

H29年6月より
H29年11月まで

■小学校 楠田教頭先生

□片貝まつり
土・日開催の今年は、例年以上の観光客で賑わいました。子どもたちは屋台の曳き廻し、巫女爺クラブの披露、鼓笛パレードの行進と今年も大活躍でした。

□ファミリー参観 11月3日、今年度初の試みでこの参観を実施しました。夢を実現するのに最も大切なことは何か、講師の体験談や映画鑑賞から感じ取った事をもとに親子で考えてみました。その後のカレパティーも好評でした。

□あいさつキャンペーン
保育園・小学校・中学校の連携で、年間二回のあいさつキャンペーンを実施。期間中の朝、中学生が小学校の校門や通学路に立ち、互いに目を見合い、手と手を触れ合い「おはよう！」と。町中に元気なあいさつが飛び交っています。

◇児童の活躍(一位のみ)◆わんぱく相撲小千谷場所【女子】二年大塚煌莉、五年藤塚美礼
【男子】三年堀井夕晴 五年浅田晃誠、六年黒崎碧琉の二名は国技館で行われた全国大会に出場◆市親善水泳大会五年男子二百m個人メドレー大塚湊多◆市ジュニア陸上大会【男子】六年走り高跳び、ソフ

トボール投げ佐藤 陸【女子】五年百m石黒恵奈五年八百m藤塚美礼四百mリレー◆六年市親善陸上大会【女子】走り幅跳び須田 愛◆県競書大会県書道教育研究会賞五年鈴木るう◆新大競書大会準特選五年鈴木るう

■中学校 相田教頭先生

片貝中学校の平成29年度前半の様子を紹介いたします。

夏の大会では、水泳の品田琴子さんが北信越大会入賞を果たしました。市内大会では、バスケ、バレーがあと一歩のところまで敗れるなど、団体競技は悔しい結果でした。秋の駅伝では、女子チームが中越大会8位で県大会初出場を果たしました。ローラースキーでも2名の選手が全国的な活躍でした。70周年記念式典では、東京片貝会教育講演会を記念講演として開催していただきました。ありがとうございます。

◆選手指数の増加で黄金時代を
バレーボールの普及と実力向上のため片貝バレーボール協会が発足、メンバー募集中。
・片貝の伝統が大輪の花
第91回全国花火競技大会で(有)片貝煙火工業が初参加で第三席となる優秀賞と特別賞を獲得した。

1ル女子2位、卓球男子個人3位吉岡風太、卓球女子団体3位、個人3位神林莉緒、クロカン女子の部3位◆中越地区大会・水泳女子百mバタフライ3位二百m背泳ぎ3位品田琴子、駅伝女子8位◆新潟県総合体育大会・水泳女子百mバタフライ7位二百m背泳ぎ2位品田琴子◆北信越総合体育大会・水泳女子二百m背泳ぎ7位品田琴子◆中越地区吹奏楽コンクール・中学校B1の部銀賞◆第28回全日本ローラースキー選手権・中学女子5kmクラシカル2位藤塚亜子3位品田萌衣、中学女子5kmフリー1位藤塚亜子2位品田萌衣◆第53回小千谷市児童生徒科学作品展覧会・金賞品田知紗子◆小千谷市新人各種大会・陸上1年女子八百m7位千五百m8位小林日香莉、野球1位、バスケトボール男子2位、バレーボール女子2位、卓球男子個人2位吉井政登、卓球女子団体3位

・祭り例年に倍する盛り上り
土日に当たり18万人が詰めかけた。尚シヤギリはい組が若・小若の共に優勝となった。
・今年も全国の土俵へ
三之町の黒崎琉君は北信越小学大会準優勝で12/3の国技館全国大会へ二年連続出場・スポ少バレー勝ち全国大会
片貝ミニバレーボールクラブは新生チームが育ち二年連続で全国大会出場権獲得
・新鮮な視点で見た片貝祭り
今夏に一ヶ月の研修を経験した三人の若者が映像を制作し、11/11に片貝総合センターで上映、好評を博した。

地域おこし協力隊便り
佐藤勇介
片貝町に4月から着任して、早8ヶ月、本当に町の方々に世話になりながら活動しております。よく「地域おこし協力隊って何?」と町民の方に尋ねられることがあります。私の活動は大きく分けて2つに分かれます。

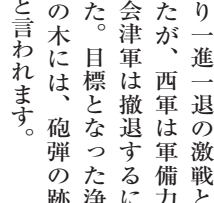
一つ目は風土記編集事業です。江戸の世に片貝の日常を記した書物「やせかまど」その現代版をとという気持ちから始まりました。片貝の日常から、行事やまつりまでひたすら記録し、一緒に参加し、お手伝いすること。これは大きな一つの活動になっていきます。この記録は記事にしてHPに乗せてあります。サイト名は「花火のち晴れ」です。どんどん更新していきますので、是非覗いてみてください。

二つ目は交流人口増加事業です。片貝のことをもっと人に知ってもらって、ファンをふやしたいということを目指しています。去年の成人玉送り行事に準備から参加し私は片貝に魅了されました。祭への人の想いに触れるほど好きになっていきました。そう思うと片貝の最大の観光資源は花火もそうですが、人でもあると思います。片貝の人以外の人が触れて、片貝の話をしたら片貝に興味を持つのではないかと?そんな自信があります。この夏は首都圏の3人の若者に一ヶ月片貝に住んでもらい、まつりには準備から若として参加してもらいました。また、その3人に片貝まつりの映像作品を作ってもらい、今まででない映像作品ができました。町での上映会では好評を得、中には涙する方もいました。これからも片貝に触れる人、関わる人を多くしていく取り組みをしていきたいと思っています。応援どうぞよろしくお願いします!

茶畑にある浄照寺は、片貝に来てから約四百年となる古刹です。戊辰戦争のあった約百五十年前、片貝村は会津藩の領地であり浄照寺には会津軍の本陣が置かれました。
慶応四年(一八六八)五月二日、会津軍と西軍(官軍)で戦いが起こり一進一退の激戦となりましたが、西軍は軍備力に優れ、会津軍は撤退するに至りました。目標となった浄照寺の樅の木には、砲弾の跡があつたと言われます。
片貝の村には、人足・人夫、宿泊、賄い、炊き出しなどが課せられました。
更に被害は、鴻巣二軒、寺町・大屋敷で十三軒の民家が焼失しています。浄照寺の裏には、西軍の戦死者五名の墓碑があります。この人達は、遠く名古屋から進軍してきた農兵隊で、同じ隊の四名は小千谷船岡に祀られています。
故郷片貝の周辺で、日本の将来をかけて、若い人達が激しく戦ったことは忘れてならないことでしょう。

浄照寺と戊辰戦争

陽光会 小宮善興



浄照寺の裏には、西軍の戦死者五名の墓碑があります。この人達は、遠く名古屋から進軍してきた農兵隊で、同じ隊の四名は小千谷船岡に祀られています。
故郷片貝の周辺で、日本の将来をかけて、若い人達が激しく戦ったことは忘れてならないことでしょう。